

デジタルマンモグラフィの現状

日本赤十字放射線技師会 常任理事 広報部 荒井 一正

一般撮影と同様にマンモグラフィもデジタル化が進み、デジタルマンモグラフィの占める割合は全体の90%にも上ります。デジタルマンモグラフィの中でも近年はFPD搭載装置の普及が徐々に進んでおり、各メーカーがそれぞれ特色のある装置を開発し、装置の性能は向上を続けています。また、FPD搭載装置の普及に伴い診断もハードコピー診断からモニタ診断へと移行しつつあります。

このような状況を踏まえ、今回の特集は『デジタルマンモグラフィの現状 ～診断から読影まで～』と題してシーメンス・ジャパン株式会社様、東芝メディカルシステムズ株式会社様、富士フイルムメディカル様、GEヘルスケア・ジャパン株式会社様に寄稿をお願い致しました。また、デジタルマンモグラフィを導入している4施設より、京都第二赤十字病院 梶迫様、長浜赤十字病院 西関様、各さいたま赤十字病院 岡田様、大森赤十字病院 出井様の施設でのデジタルマンモグラフィの現状について御寄稿いただきました。今後デジタルマンモグラフィの導入や更新をお考えの施設の機種選定や運用の参考になれば幸いです。

御寄稿頂いた会員・メーカーの方々へ、貴重な時間を裂いて御執筆をいただきましたことに紙面を借りて深謝申し上げます。

【 Digital Breast Tomosynthesis 】

シーメンス・ジャパン株式会社 ヘルスケアセクター クリニカルプロダクト部 大塚 恭一

【デジタルマンモグラフィの現状 ～診断から読影まで～】

東芝メディカルシステムズ株式会社 首都圏支社 営業推進部 富田 泰行

【デジタルマンモグラフィの現状 ～診断から読影まで～】

富士フイルムメディカル MS部 嵯峨 綾子

【デジタルマンモグラフィの現状】

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 Detection & Guidance Solutions部 荒蒔 佳加

【京都第二赤十字病院 直接変換型FPDマンモグラフィ装置を導入して】

京都第二赤十字病院 梶迫 絵美

【長浜赤十字病院 長浜赤十字病院マンモグラフィシステムのご紹介】

長浜赤十字病院 西関 剛

【さいたま赤十字病院 デジタルマンモグラフィと当院の現状】

さいたま赤十字病院 放射線科部 岡田 智子

【当院におけるデジタルマンモグラフィについて】

大森赤十字病院 出井 愛子